

校長室だより

7月

京都市立音羽小学校
校長 藤村 徹

学校教育目標

ひとりひとりが みんなと共に 個性豊かに たくましく生きる子どもの育成

目指す子ども像

- ① 自他を大切にする子ども ② 自分の可能性にチャレンジする子ども ③ 自ら学ぶ子ども

空梅雨かと思えば、大雨。これも地球温暖化と関係があるのでしょうか。

先日、学校に1通のはがきが届きました。傷害のあるご老人からでした。買い物からの帰り道、二人連れの女の子が追い越し際に「大丈夫ですか」「気をつけてくださいね」とやさしく声をかけてくれたことに胸があつくなったこと。その言葉かけにととても感謝していて、もう一度御礼を言いたくはがきを送ったことが記されていました。連日のように痛ましい事件の報道に心を痛めているときに、心の和むはがきでした。「してはいけないこと」ばかりに心を奪われるのですが、「すれば喜ばれること」をもっともっと子どもたちに伝えるべきだと思っています。「自他を大切にする子ども」をめざして、これからも取り組んでいきます。



縦割り活動

6月18日(土)・7月2日(土)にわんぱくランド 親子サイエンス

「ポンポン蒸気船をつくろう」を高学年で「アップ・ダウン金魚」を低学年で実施しました。身近にある「水」一つをとってみても、わたしたちの知らないことがたくさん

あります。これをきっかけに普段何気なく見ていることに立ち止まって

「なぜだろう」と考えてみてはいかがでしょう。

もうすぐ夏休みです自由研究の取組を

親と子どもがかかわって、身の回りの不思議にチャレンジしてみてください。何をテーマにしてよいかわからない・どのように調べるとよいのか知りたい・調査したり、考察したりしたことをどのようにまとめたらよいかわからないなど自由研究の進め方について不安をお持ちではないでしょうか。今回家庭教育学級で、科学センター指導員の先生をお迎えして「自由研究の進め方」をテーマに講演をしていただきます。テーマ設定の仕方や観察用具の使い方、作品を通して、具体的にお話していただきます。たくさんの方が参加されるとよいですね。理科・算数離れが指摘されていますが、わたしたちの生活と結びついていると感じることができれば、もっともっと好きになる子どもが増えてくると思っています。わたしも子どもが小学生のとき自由研究にずいぶんかかわったものです。そのときに使った手法は以後の子どもの学習に役立ったと確信しています。



